

四季彩り

安倍晋三首相が辞意を表明しました。安倍氏は第2次安倍政権発足当時、リーマンショックの後遺症や東日本大震災のため低迷していた日本経済を立て直すなど経済面でも大きな功績を上げました。今回は安倍氏の経済政策について見てみます。

アベノミクスと言えば金融緩和というような印象があるかと思いますが、私はアベノミクスのポイントは他にあり、政権発足時はドイツのメルケル首相や韓国の李明博大統領など外遊の際に財界人を同行

西村証券チーフストラテジスト

門司 総一郎

アベノミクスを振り返る

し、訪問先で商談をまとめるリーダーが増えています。日本にはそうしたリーダーはいませんでした。こうし



たリーダーをCEO（最高経営責任者）型リーダーと呼びますが日本初のCEO型リーダー、それが安倍氏です。

CEO型リーダーには二つのメリットがあります。一つは商談がまとまりやすくなることです。特に原発や鉄道な

どの大きなプロジェクトの場合、政府の支援がなく民間企業だけでは受注はほぼ不可能と言えます。

もう一つは財界トップと首相の距離が近くなることです。例えば往復の飛行機の中で首相と財界トップが意思疎通を図ることが出来ます。これは忙しい両者にとって大きなメリットです。これは景気や企業業績の改善を支える力になったと思います。

さらに安倍氏のリーダーシップという意味で、観光立国にも注目しています。安倍氏は外遊の際、日本の物産展などで先頭に立って日本食や日本酒などを売り込みました。このような安倍氏の姿を見て都道府県知事の間でも海

外を訪問して地元の特産品を売り込む動きが出てきました。安倍氏のリーダーシップが他の人に波及したと言えます。

このほか少子化を踏まえた外国人労働者の受け入れなどこれまで日本でタブー視されていた課題にも踏み込みました。最近話題のテレワークもアベノミクスの一つです。

このように安倍氏は単に景気や株価だけでなく、今後の日本の長期的な課題についても道を示してくれました。これが真のアベノミクスと言えます。次の首相も安倍氏のよう強いリーダーシップと長期的なビジョンを兼ね備えた方になっていただきたいと思